

12. 熊本大学医学教育部改善計画書

領域	改善計画 (H27. 3. 31現在)	改善状況① (H27. 12. 1現在)	改善状況② (H28. 12. 1現在)
教育	(法人評価までに改善する計画) 課題の改善に向けた具体的な検討に着手する。	教育部として大学院学生への就職支援を行っていなかったことで、昨年度より独自の就職支援を計画、開催し、今年度も11月に就職支援セミナーを開催した。留学生の進路・就職支援については具体的な方策を検討中である。	昨年度に引き続き、今年度も11月に就職支援セミナーを開催した。留学生の進路・就職支援については、H160プログラムに所属する私費留学生に個々にメンター(教員2名)を配置し、就活の支援を含めた様々な相談ができる体制を整えた。
	(2年間で改善する計画) 在学中の就職活動支援について、本年度より医学教育部独自の就職支援セミナーを開催した。平成27、28年度で、出席者の増加と内容の充実を図る。	平成27年11月20日(金)に本学キャリア支援ユニット長を講師として大学院生対象の就職支援セミナーを開催した。修士課程学生3名と博士課程学生(医師でない学生)1名の参加があった。来年度は開催日程を含め、参加者を増やす方策を講じたい。	平成28年11月15日(火)に本学キャリア支援ユニット長を講師として大学院生対象の就職支援セミナーを開催した。今年は、修士課程8名の参加があった。その後教職員と学生との親睦会を行い、就職に関する相談などに個別に応じ、充実したセミナーになった。
	(次の組織評価までに改善する計画) 外国人留学生の希望を尊重し、母国や日本国内または海外での就職を支援する。また、修了者との連絡網をフェイスブック等を作成してウェブ上に構築し、在学生と修了生、修了生同士の交流を促進するネットワークを確立する。	外国人留学生への就職支援については現在大学院教育委員会及び学生委員会で検討中である。また、ネットワークの確立についてもどのような方法が最適であるかを大学院教育委員会及び学生委員会で検討している段階である。	外国人留学生の就職支援については、私費留学生の多くが在籍するH160プログラム内に、フェイスブックを立ち上げ、日本人や修了者を含めた学生間交流に役立っている。
国際化	(法人評価までに改善する計画) 課題の改善に向けた具体的な検討に着手する。 また、「国費外国人留学生の優先配置特別プログラム」に採択(6名 平成27年度～平成29年度)されたことに基づき、年間6名の国費留学生を受け入れる。	平成28年10月入学国費留学生優先配置特別プログラムの留学生を募集中である。 (募集締切:平成28年1月20日) 選抜試験を28年2月5日に実施し、優秀な留学生6名を受け入れる予定である。 日本人学生の英語能力向上のためのカリキュラム構築については、科目の新設の必要性を含め検討中である。	平成29年10月入学国費留学生優先配置特別プログラムの留学生を募集中である。 (募集締切:平成29年1月18日) 選抜試験を29年2月3日に実施し、優秀な留学生6名を受け入れる予定である。 日本人学生の英語能力向上のためのカリキュラム構築については、次年度に向けて全てを英語で行う授業科目の新設に向けて動いている。
	(2年間で改善する計画) 現行のカリキュラムにおいて、英語による授業が可能なものを洗い出し、英語による授業の更なる充実を図る。また、英語での発表・討論を行う機会を設定し、日本人学生の英語力向上を図る。	英語化が可能な授業(各コマ)を洗い出しているところである。 エイズコースやH160プログラムの学生は、英語による研究発表・討論を実施している。	次年度に向けて、英語で行う授業科目の新設に向けて動いている。また、授業を英語で行いeラーニングで撮影し、日本人学生に受講させることで、英語力を伸ばすことを開始している。今後はさらに、英語授業の科目数を増やすことに目指す。
	(次の組織評価までに改善する計画) 私費留学生への経済的な支援について、医学教育部独自あるいは全学的に新たな方法を確立するための活動を行う。また、修了後(学位取得後)の外国人留学生とのネットワークを確立する。	全学の担当部署に私費留学生への経済的支援について、授業料免除や奨学金受給への積極的な配慮を依頼する予定である。 ネットワークの確立については、どのような方法が最適であるかを大学院教育委員会及び学生委員会で検討している段階である。	私費留学生の多くが在籍するH160プログラム内に、フェイスブックを立ち上げ、日本人や修了者を含めた学生間交流や情報発信を行っている。